









甲子歳月次句合

懐月のまゝ

喰積や舞一子鞠とや色米  
夜日やうこもやぬ忘れ水  
夜く流もそわう子操舟  
喰積と積やうこも南  
喰積ややま栲栢の俣まう  
うつやわわうつうまわい  
喰積や栲栢とやうこも新  
喰積や七尺去て 賞  
喰つややうのれうのうまう  
喰積や風とやううううう  
かや変万葉集始書肩毛

江戸 鳳尾  
、 種結  
、 百始  
、 毛富 柳雨  
、 板鼻 和泉  
、 上井 南交  
、 上井 栲里  
、 上井 連心  
、 上井 白水  
江戸 百里  
、 上井 仙風  
、 上井 楓花

二

萬葉やその換投ハ口あき  
松とく万葉子門の歌ハ内ね  
萬葉や葉草うを魚と歌う六  
上人葉や葉袍とくう伝達の壘  
万葉のわうハやを記以如  
萬葉や葉をてつとく積の壘  
まんまはに神ゆとく夕日新  
万葉や葉袍とくをうりう風  
萬葉や三代あまのうりう歌  
其のまはあハちうね栲栢  
花と葉子枝とくをねつて如  
層とくはうまううて栲栢  
是栲の鳥子とくや葉栲  
栲とくやうまう栲しつて葉

上巻 可與  
、 新谷 仙李  
、 毛富 新二  
、 上井 秀木  
、 上井 栲雨  
、 上井 如柳  
、 上井 松美  
、 上井 鳳尾  
、 上井 種結  
、 上井 中書  
、 上井 一書  
、 上井 栲泉  
、 上井 栲旭  
、 上井 流世



























つらハ伸ひあゝら秋も花野介  
 あゝ馬を牽くハ後を花野介  
 川に流し裾也〜〜〜の原  
 川や杉並野介は〜〜人の原  
 舞〜〜〜花野介  
 秋〜〜〜乃野介  
 晴〜〜の業〜〜と秋〜〜  
 高〜〜や善〜〜秋〜〜日秋風  
 新〜〜川〜〜小〜〜雨  
 稲〜〜の中〜〜も晴〜〜  
 秋風の〜〜や善〜〜の〜〜  
 事〜〜の〜〜あり〜〜の〜〜  
 秋の風月〜〜秋〜〜  
 秋の風月〜〜秋〜〜

破子 嘉堤  
 び田 玉水  
 江戸 二滝  
 江戸 兔工  
 江戸 白鳥  
 江戸 梅白  
 江戸 名源  
 江戸 百川  
 江戸 本郊  
 江戸 巴峽  
 江戸 考築  
 江戸 牛来  
 室田 柳雨

九

秋風やらふき山の日秋雪  
 むつ〜〜知も自然と秋の風  
 日の電の〜〜も秋〜〜の風  
 色〜〜ぬ切著〜〜は〜〜  
 秋〜〜と秋〜〜も秋〜〜

江戸 芦花  
 江戸 野路  
 江戸 風尾  
 江戸 百里  
 江戸 桃圃

紫月ハ

首飾や秋〜〜も秋〜〜  
 日〜〜も秋〜〜も秋〜〜  
 夕〜〜も秋〜〜も秋〜〜  
 雨〜〜も秋〜〜も秋〜〜  
 雲〜〜も秋〜〜も秋〜〜  
 不〜〜も秋〜〜も秋〜〜  
 秋〜〜も秋〜〜も秋〜〜  
 秋〜〜も秋〜〜も秋〜〜

板鼻 夕雨  
 江戸 里紅  
 江戸 鳳尾  
 江戸 角丸  
 江戸 梅旭  
 江戸 車来  
 江戸 芋夫  
 上野 玄碩



落あ車や〜ふりふり〜  
 舟待小落然けうじかうき  
 雲解と〜〜〜  
 東雲色白の〜  
 鏡如く〜  
 障掃〜  
 石灯籠や〜  
 行社や〜  
 甲〜  
 川〜  
 中〜  
 川路や小田本の〜

板真 桃雨  
 荊谷 車来  
 江戸 西野  
 板真 夕雨  
 江戸 車来  
 江戸 柳枝  
 板真 藤地  
 江戸 里紅  
 荊谷 燕石  
 板真 仙掌  
 江戸 銀沙  
 江戸 朱賀

茶月琴

声の雪は〜  
 江岸のむ〜  
 今〜  
 茶の〜  
 梅小〜  
 茶の〜  
 茶の〜  
 茶の〜  
 ち〜  
 茶の〜

江戸 風尾  
 江戸 寺郊  
 江戸 兔工  
 中野 除水  
 江戸 鳳尾  
 板真 美紅  
 板真 香光  
 上野 車来  
 寺裏 南更  
 江戸 老越  
 江戸 里風  
 江戸 墨



茶の花やひらひらわたり垣細  
 ちやの花や飛く小窓の窓あり  
 葉の花や衣打掛しこまの  
 葉の花や横日さし込多お細  
 ちやの花やひらひらわたり垣細  
 ちやの花や飛く小窓の窓あり  
 葉の花や衣打掛しこまの  
 葉の花や横日さし込多お細  
 ちやの花やひらひらわたり垣細  
 ちやの花や飛く小窓の窓あり  
 葉の花や衣打掛しこまの  
 葉の花や横日さし込多お細

江戸 雨 晴 風  
 中書 崇 崇  
 江戸 百里 松花  
 吾知 遠石  
 白井 白 水  
 江戸 東 契  
 板鼻 等 橋  
 佐原 来 至  
 呂 同

神母月  
 月花を翹にみりくちとけ  
 小料理もむらたきらよ敷付  
 重くおはなれぬおのちか  
 ちやまてはさしるものか  
 ちやまてはさしるものか  
 ちやまてはさしるものか  
 ちやまてはさしるものか

江戸 雨 晴 風  
 中書 崇 崇  
 江戸 百里 松花  
 吾知 遠石  
 白井 白 水  
 江戸 東 契  
 板鼻 等 橋  
 佐原 来 至  
 呂 同

江戸 雨 晴 風  
 中書 崇 崇  
 江戸 百里 松花  
 吾知 遠石  
 白井 白 水  
 江戸 東 契  
 板鼻 等 橋  
 佐原 来 至  
 呂 同











定連

春舞う花のふらふら

子孫開谷  
赤松屋

定連

そよ風の音をききし

しほの葉やうららかに

車来

花の影をうららかに

うららかにうららかに

仙舟

百人一首の歌をよみし  
花の影をうららかに  
うららかにうららかに

あはれうららかに

紅雲

定連

物陰のうららかに

二宮園崎

雲高子

月夜をうららかに

春柳やうららかに

七女

伊泉

名月やうららかに

左舞

多き事やうららかに

春鳥

かたやうららかに

か年  
素心

ありやうららかに

紫之

はちやうららかに

可名



花のまはりにてはりて年一の月  
とふくく咲くやうなる枝は  
由きて春へ送る身は針糸  
奇しう讀名も交りり角力  
何れもいそぎ月のと方  
也啼戸灯大くさすハき摩  
而風の吹ぬ言一在の月  
こす甲のきととて戸中神事  
名もも心息一休佛とあそび

十五

送交  
糸岐  
振替  
田人  
弘安  
雪新  
井秋  
花光  
如硯

あめりや路ありて一松尾花  
も水やうらやう井戸のうらや  
まををハツのあやを小水う  
漫泉の涌かすの雪甲か  
かす早の名と尋りり角力  
おしやうにころすりもりあかり  
あきやもはるこころ一ゆるぬも  
水際あかりてし部一枯尾花  
川風のよかちけ白秋のあめ

十六

中業改  
守位

一臺  
了川  
水圃  
梅居  
井醉  
井地  
一風  
瑞雪



福つるやふと入るる五小航の行糸  
こころをきりて入るる神楽  
家より多支糸 糸のさく糸  
少婦心の人もひたる見分  
糸とさるるやさくの時々の  
さびるやその糸の糸の糸  
糸の糸の糸の糸の糸の糸  
糸の糸の糸の糸の糸の糸

他詠

短矢  
糸遊  
三糸  
三つ女  
飛遊  
山風  
柳條  
美原

そこのむすね知の二年春  
下と吹風やうきうき  
功操一甲一の知や蝶の糸  
こころをきりて入るる神楽  
秋の風  
秋の風  
糸の糸の糸の糸の糸  
糸の糸の糸の糸の糸  
糸の糸の糸の糸の糸  
糸の糸の糸の糸の糸  
糸の糸の糸の糸の糸

十七

下巻  
五小航改

短矢  
糸遊  
三糸  
三つ女  
飛遊  
山風  
柳條  
美原











みの月平家と語り人も引  
 つくぬく月と流しと居る引  
 平家と流しと居る引  
 後々の愛のよきかたは秋の月  
 平家の水と今下の玉火引  
 つくぬく山子と大寺の火  
 以後の平家と流しと居る引  
 飛舟と越く舟のり引  
 平家と流しと居る引

上原田

方格

持圃

女  
杉翠

飛徳

平家

帯付

一畷

飛舟

平家

綴りて人平明引  
 名もよみ平家引  
 平家の水と今下の玉火引  
 秋風の吹く流しと居る引  
 平家の水と今下の玉火引  
 平家の水と今下の玉火引  
 平家の水と今下の玉火引  
 平家の水と今下の玉火引  
 平家の水と今下の玉火引  
 平家の水と今下の玉火引

廿

平家

平家

平家

平家

平家

平家

平家

平家

琴化

一雨

蓮雨

林水

平水

杉久

平水

平水

和友



後難や川風をききぬのこゝろ  
杉影おと扉にしよるふゆらり  
雪の跡しよるしよるしよる  
雪うらふふちりし度り  
娘すけのやまの雪をみるね  
牛の子のまゝ寝させ花候  
舞はれぬ免の花はらうらう  
人おきぬ梅をせりしり  
ゆきうたし日の影をのいひか

車水

こころ  
左武

雪列打浦  
雪之

如妻

上巻下  
音列

善石  
婿折

善石  
石湯

何処上  
善川

善石  
柳和

廿一

このやうな世とらるる合の心  
おきぬおきぬしよるの雪はら  
雪うらふの雪うらふの雪  
花の影や時をわたりし  
秋の雪や時をわたりし  
雪の花や時をわたりし  
石乃の雪や時をわたりし  
雪や時をわたりし  
雪うらふの雪うらふの雪

車水

梅  
梅觴

善石  
親翁

いさ  
徳波

善石  
五達

善石  
善石

善石  
長束

善石  
善山

善石  
尾玉



露中〜〜水〜〜月  
 露中〜〜水〜〜月  
 露中〜〜水〜〜月  
 露中〜〜水〜〜月  
 露中〜〜水〜〜月  
 露中〜〜水〜〜月  
 露中〜〜水〜〜月  
 露中〜〜水〜〜月

得百  
 一  
 大  
 風  
 一  
 一  
 一

けく〜〜らり〜〜

一  
 丈左

秋の露〜〜  
 秋の露〜〜  
 秋の露〜〜  
 秋の露〜〜  
 秋の露〜〜  
 秋の露〜〜  
 秋の露〜〜  
 秋の露〜〜

一  
 一  
 一  
 一  
 一  
 一  
 一  
 一



のり

松露之入

出木の花や一抔うらみの面  
市川月島の福なまはつたふね  
山〜いづれんそとていづれんそとて  
お〜さきのいづれんそとていづれんそとて

長如

大尾

いゝ〜いゝ〜いゝ〜いゝ〜いゝ〜いゝ〜  
いゝ〜いゝ〜いゝ〜いゝ〜いゝ〜いゝ〜  
いゝ〜いゝ〜いゝ〜いゝ〜いゝ〜いゝ〜  
いゝ〜いゝ〜いゝ〜いゝ〜いゝ〜いゝ〜  
いゝ〜いゝ〜いゝ〜いゝ〜いゝ〜いゝ〜  
いゝ〜いゝ〜いゝ〜いゝ〜いゝ〜いゝ〜

上を極真

万年

林造

桃月

うさぎ

仙

連糸

口を〜

口を



